

日本の公債残高と税収の推移と将来推計

○日本の公債残高は毎年増加の一途をたどっており、2015年度末の公債残高は805兆円(税収の約15年相当分)に上る。国の基礎的財政収支(プライマリーバランス)の黒字化が2020年度までに実現されたとしても、人口減少と急速な高齢化の同時進行は、健全な財政を脅かし、将来世代に大きな負担を残すことになる。

